

第 1 5 2 回

取引先企業景気動向調査

〔平成28年 1- 3月 実績〕  
〔平成28年 4- 6月 見通し〕

瀬戸信用金庫

総合企画部

## 調査概要

1. 調査期間 平成28年1～3月を対象に3月上旬に実施した。
2. 調査対象先 瀬戸・尾張旭地区は11業種173社。（うち陶磁器製造業86社）  
名古屋地区は7業種137社。（下表）
3. 調査方法 当金庫の営業店担当者による面接聞き取り調査。
4. 分析方法 各質問事項につき、増加（上昇）したとする企業割合と減少（下降）したとする企業割合の差（DI）を中心にして分析した。  
なお、珪砂製造業、和飲食器卸売業、電設資材卸売業、建築・土木・生コン製造業、螺子製造業は陶磁器製造業の集計には含めていない。

《瀬戸・尾張旭地区》

《名古屋地区》

《瀬戸・尾張旭地区》				《名古屋地区》					
業種		対象企業	有効回答	比率%	業種		対象企業	有効回答	比率%
陶磁器製造業	ノベルティ	17	17	100.0	製造業	繊維製品	11	11	100.0
	洋飲食器	9	9	100.0		機械部品	37	37	100.0
	タイル	8	8	100.0		紙加工品	14	14	100.0
	電磁器	19	19	100.0	卸売業	鋼材伸銅	21	21	100.0
	ファインセラミックス	14	14	100.0		建築材料	15	15	100.0
	和飲食器	19	19	100.0		家具文具	10	10	100.0
陶磁器製造業計	86	86	100.0	— — —		—	—	—	
珪砂製造業	11	11	100.0	— — —		—	—	—	
その他5業種	和飲食器卸売業	24	24	100.0	— — —	—	—	—	
	電設資材卸売業	18	18	100.0	— — —	—	—	—	
	建築・土木・生コン製造業	17	17	100.0	— — —	—	—	—	
	螺子製造業	17	17	100.0	— — —	—	—	—	
	その他5業種計	87	87	100.0	建設業	29	29	100.0	
瀬戸・尾張旭地区合計		173	173	100.0	名古屋地区合計		137	137	100.0
合計		対象企業数	310社	有効回答数	310社	回答率	100.0%		

判断指数：（DI）とは、業況・受注・売上・収益の増加企業割合から減少企業割合を引いた数値で、どちらの割合が多いかを比べて、景気がどの方向に向きつつあるかをみる方法である。

（例）前回に比べて売上が増加した企業割合40%、変わらなかった企業割合50%、減少した企業割合10%の場合、判断指数は40－10＝30となる。

判断指数がプラスのとき → 景気上向き

判断指数が0のとき → 景気横ばい

判断指数がマイナスのとき → 景気下向きと読み取る。

## < 瀬戸・尾張旭地区 >

### 1. 今回調査の景況（1～3月）

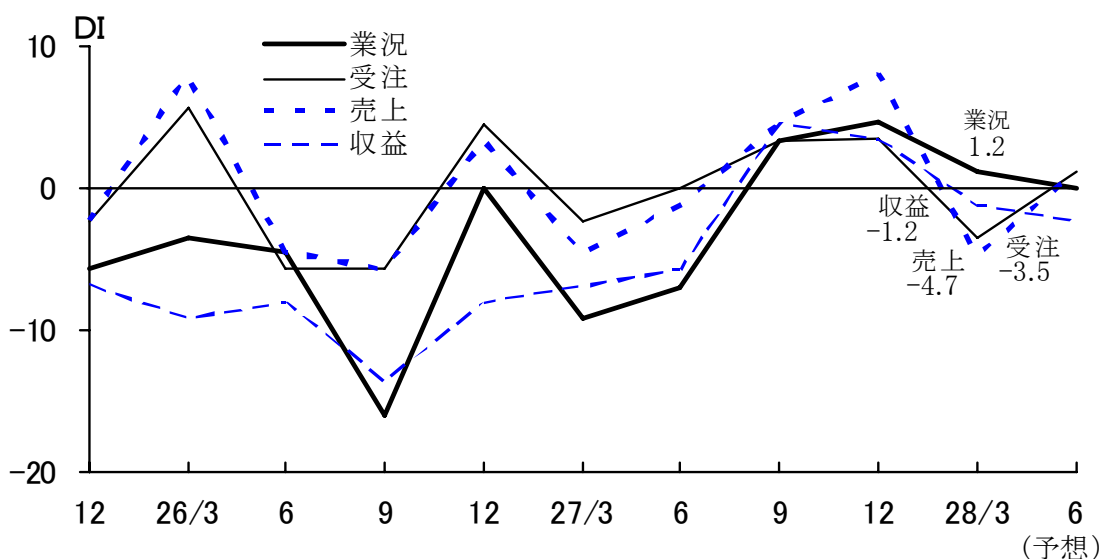
#### 業況DIは3期連続プラスで推移

瀬戸・尾張旭地区の陶磁器製造業取引先企業（有効回答企業 86 社）の1～3月（聞き取りによる前回調査10～12月との対比）の業況についてみると、業況判断DIは1.2となり、前回実績（4.7）比3.5ポイント悪化となったが、はじめてプラスに転じた平成27年7～9月期からプラスで推移している。

当地区陶磁器製造業においては、需要低迷が続いているなか、年度末の在庫調整や季節商品である干支置物、雛人形の生産が落ち着いたことなども加わり落ち込んだものの、業況判断DIは3期連続プラスを維持した。

業種別の業況判断DIをみると、和飲食器は改善、洋飲食器・タイルは横ばい、ノベルティ・電磁器は悪化、ファインセラミックスは弱含みで推移した。

#### ◎ 陶磁器製造業の業況・受注・売上・収益DI推移（前回調査比）



### 2. 来期の見通し（4～6月）

#### 1.2ポイント悪化予想

陶磁器製造業全体での予想業況判断DIは0.0となり、今回実績（1.2）比1.2ポイントの悪化予想となった。

業種別の予想業況判断DIでは、洋飲食器・タイルは改善、和飲食器は横ばい、ノベルティ・電磁器は悪化、ファインセラミックスは弱含みで推移する見通し。

## ◎陶磁器製造業のD I 推移

指標		「増加－減少」企業割合(DI)													
		H25				H26				H27				H28	H28.4-6
		10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	(予想)			
前回調査比	業況														
		-5.7	-3.4	-4.5	-15.9	0.0	-9.2	-6.9	3.4	4.7	1.2 (-1.2)	(0.0)			
	受注額	-2.3	5.7	-5.7	-5.7	4.5	-2.3	0.0	3.4	3.5	-3.5 (2.3)	(1.2)			
	売上額	-2.3	8.0	-4.5	-5.7	3.4	-4.6	-1.1	4.6	8.1	-4.7 (3.5)	(1.2)			
	売上数量	-2.3	2.3	-6.8	-8.0	1.1	-4.6	-1.1	8.0	9.3	0.0 (2.3)	(1.2)			
	販売単価	-1.1	-1.1	3.4	9.1	1.1	2.3	0.0	1.1	3.5	4.7 (-1.2)	(2.3)			
	仕入価格	18.2	15.9	23.9	20.5	13.6	12.6	14.9	3.4	2.3	5.8 (0.0)	(3.5)			
	製品在庫	-1.1	0.0	5.7	2.3	0.0	-2.3	3.4	1.1	1.2	-2.3 (-1.2)	(0.0)			
	原材料在庫	1.1	1.1	2.3	2.3	-1.1	0.0	2.3	1.1	2.3	0.0 (1.2)	(1.2)			
	収益	-6.8	-9.1	-8.0	-13.6	-8.0	-6.9	-5.7	4.6	3.5	-1.2 (1.2)	(-2.3)			
資金繰り	-11.4	-9.1	-17.0	-10.2	-6.8	-9.2	-6.9	-4.6	-9.3	0.0 (-5.8)	(-2.3)				
前年同期比	売上額	-4.5	8.0	-2.3	-8.0	-2.3	-5.7	0.0	5.7	3.5	2.3				
	収益	-10.2	-4.5	-5.7	-10.2	-5.7	-9.2	-1.1	6.9	5.8	-2.3				
設備投資実施割合(%)		3.4	5.7	6.8	4.5	4.5	5.7	5.7	4.6	4.7	3.5 (1.2)	(5.8)			
平均受注残		12月末 1.4ヶ月	3月末 1.5ヶ月	6月末 1.7ヶ月	9月末 1.7ヶ月	12月末 1.7ヶ月	3月末 1.7ヶ月	6月末 1.7ヶ月	9月末 1.9ヶ月	12月末 1.6ヶ月	3月末 1.8ヶ月				

注. ( ) 内は前期に予想した割合を示す。

景況天気図



## 陶磁器製造業

### <ノベルティ>

#### 1. 景況

業況判断D Iは11.8、前回(23.5)に比べ11.7ポイント悪化した。海外での大型受注契約を獲得した企業もあるが、季節商品である干支や雛人形の生産が落ち着いたこともあり、受注・売上・収益はいずれも悪化した。

#### 2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは5.9、今期実績比5.9ポイント悪化する見込み。引き続き海外からの大型受注やキャラクター商品で増加を見込む企業があり、受注・売上は改善、収益は横ばいで推移する見込み。

	28年1-3月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	28年4-6月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	17.6	5.9	76.5	11.8	△11.7		11.8	5.9	82.4	5.9	△5.9
受注	5.9	17.6	76.5	△11.8	△35.3		11.8	5.9	82.4	5.9	17.7
売上	5.9	17.7	76.5	△11.8	△41.2	11.8	11.8	5.9	82.4	5.9	17.7
収益	17.6	11.8	70.6	5.9	△11.7	△5.9	11.8	5.9	82.4	5.9	0.0

### <洋飲食器>

#### 1. 景況

業況判断D Iは△11.1、前回(△11.1)と変わらず横ばいで推移した。厳しい業況が続いているものの、販路拡大や経費削減に努めている企業もあり、受注・売上・収益はいずれも改善した。

#### 2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは0.0、今期実績比11.1ポイント改善する見込み。販路拡大に努めている企業や取引先からの受注増加が見込まれる企業もあり、受注・売上・収益はいずれも改善する見込み。

	28年1-3月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	28年4-6月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	0.0	11.0	88.9	△11.1	0.0		0.0	0.0	100.0	0.0	11.1
受注	0.0	0.0	100.0	0.0	11.1		11.1	0.0	88.9	11.1	11.1
売上	0.0	0.0	100.0	0.0	11.1	-11.1	11.1	0.0	88.9	11.1	11.1
収益	0.0	0.0	100.0	0.0	11.1	-11.1	11.1	0.0	88.9	11.1	11.1

### <タイル>

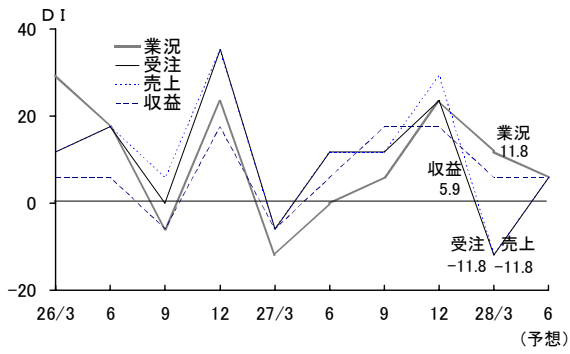
#### 1. 景況

業況判断D Iは0.0、前回(0.0)と変わらず横ばいで推移した。リフォームを中心とした小型受注を数多く獲得しているものの、マンション着工数の減少などもあり、受注は改善、売上は横ばい、収益は悪化した。

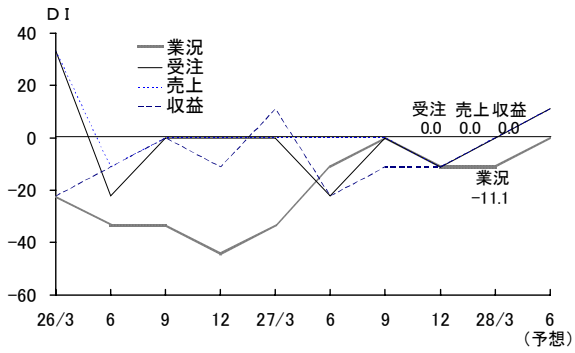
#### 2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは12.5、今期実績比12.5ポイント改善する見込み。大幅な売上、利益は見込めないものの、小型受注を数多く獲得し収益増加に努めようとしており、受注・売上はともに横ばい、収益は改善する見込み。

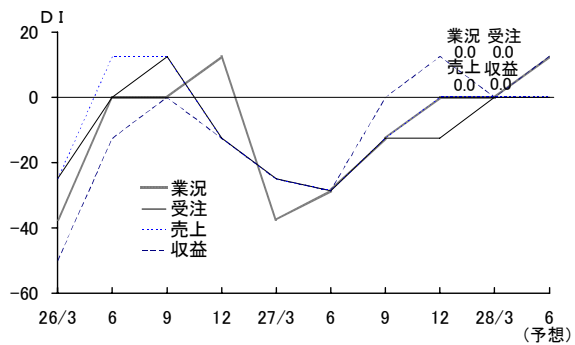
	28年1-3月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	28年4-6月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		12.5	0.0	87.5	12.5	12.5
受注	0.0	0.0	100.0	0.0	12.5		0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
売上	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
収益	0.0	0.0	100.0	0.0	△12.5	12.5	12.5	0.0	87.5	12.5	12.5



時期	前期 平成27年 10~12月	当期 平成28年 1~3月	来期見通し 平成28年 4~6月
業種			
ノベルティ			



洋飲食器			
------	--	--	--



タイル			
-----	--	--	--

## <電磁器>

### 1. 景況

業況判断D Iは△5.3、前回(0.0)に比べ5.3ポイント悪化した。碍子メーカーからのコスト削減による受注減少や後継者不在により事業の縮小を図っている企業もあり、受注・売上は悪化、収益は横ばいで推移した。

### 2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは△10.5、今期実績比5.2ポイント悪化の見込み。海外製品との価格競争により収益の減少を見込む企業があるが、電力自由化に伴う電力会社の設備改修により受注増加を見込む企業があり、受注・売上は改善、収益は悪化する見込み。

	28年1-3月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	28年4-6月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	0.0	5.3	94.7	△5.3	△5.3		0.0	10.5	89.5	△10.5	△5.2
受注	0.0	5.3	94.7	△5.3	△5.3		5.3	5.3	89.5	0.0	5.3
売上	0.0	5.3	94.7	△5.3	△5.3	0.0	5.3	5.3	89.5	0.0	5.3
収益	5.3	10.6	84.2	△5.3	0.0	0.0	0.0	15.8	84.2	△15.8	△10.5

## <ファインセラミックス>

### 1. 景況

業況判断D Iは14.3、前回(21.4)に比べ7.1ポイント悪化した。触媒関連で堅調に推移している企業があるものの、外注先の受注延期や新製品の研究・開発費等の増加により、受注・売上・収益はいずれも悪化した。

### 2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは7.1、今期実績比7.2ポイント悪化する見込み。生産ラインの更改等により生産力の向上に努めている企業はあるが、取引先から受注減少を見込む企業があり、受注・収益は悪化、売上は横ばいで推移する見込み。

	28年1-3月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	28年4-6月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	21.4	7.1	71.4	14.3	△7.1		14.2	7.1	78.6	7.1	△7.2
受注	0.0	0.0	100.0	0.0	△7.1		0.0	7.1	92.9	△7.1	△7.1
売上	0.0	7.1	92.9	△7.1	△28.5	7.1	0.0	7.1	92.9	△7.1	0.0
収益	14.2	7.1	78.6	7.1	△21.5	0.0	7.1	7.1	85.7	0.0	△7.1

## <和飲食器>

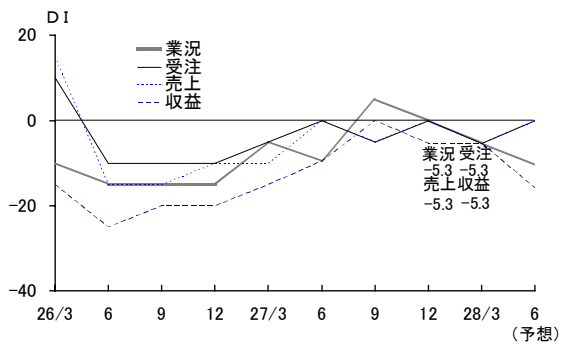
### 1. 景況

業況判断D Iは△5.3、前回(△10.5)に比べ5.2ポイント改善した。従業員の高齢化や競争激化により受注減少した企業がある一方、インターネット販売や新規開拓に力を入れ好調な企業もあり、受注・売上はともに横ばい、収益は改善した。

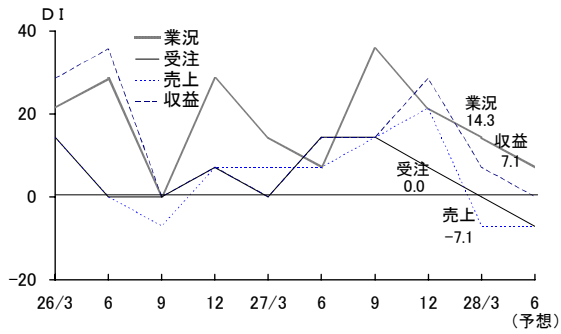
### 2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは△5.3、今期実績比横ばいで推移する見込み。季節商品の受注が落ち着き売上減少を見込む企業があるが、インターネット販売や海外での販路拡大を見込んでいる企業があり、受注・売上・収益は横ばいで推移する見込み。

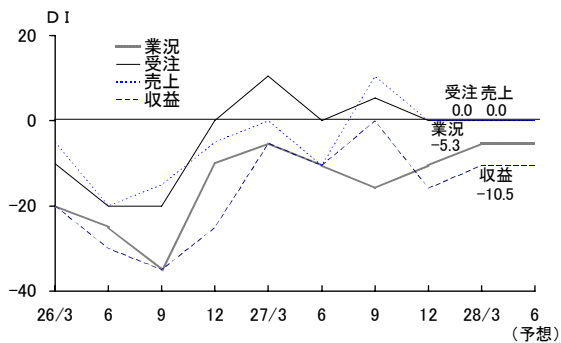
	28年1-3月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	28年4-6月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	5.3	10.6	84.2	△5.3	5.2		5.3	10.6	84.2	△5.3	0.0
受注	5.3	5.3	89.5	0.0	0.0		10.5	10.6	78.9	0.0	0.0
売上	5.3	5.3	89.5	0.0	0.0	△5.3	5.3	5.3	89.5	0.0	0.0
収益	0.0	10.6	89.5	△10.5	5.3	△5.3	0.0	10.6	89.5	△10.5	0.0



時期	前期 平成27年 10~12月	当期 平成28年 1~3月	来期見通し 平成28年 4~6月
業種			
電磁器			



ファインセラミックス			
------------	--	--	--



和飲食器			
------	--	--	--



## その他

### 〈珪砂製造業〉

#### 1. 景況

業況判断D Iは9.1、前回(9.1)と変わらず横ばいで推移した。農業用肥料の受注が増加となった企業や新規取引先からの受注により、受注・売上はともに増加したが、販売単価の減少により収益は悪化した。

#### 2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは0.0、今期実績比9.1ポイント悪化する見込み。引き続き農業用肥料やガラス原料により受注増加する企業もあり、受注は横ばい、売上・収益はともに改善する見込み。

	28年1-3月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	28年4-6月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	18.2	9.1	72.7	9.1	0.0		18.2	18.2	63.6	0.0	△9.1
受注	27.3	9.1	63.6	18.2	27.3		18.2	0.0	81.8	18.2	0.0
売上	18.2	9.1	72.7	9.1	18.2	27.3	18.2	0.0	81.8	18.2	9.1
収益	9.1	9.1	81.8	0.0	△18.2	0.0	18.2	0.0	81.8	18.2	18.2

### 〈和飲食器卸売業〉

#### 1. 景況

業況判断D Iは0.0、前回(12.5)に比べ12.5ポイント悪化した。無印良品の海外販売が好調で売上増加した企業があったものの、季節商品の需要が落ち着いたことや取引先の在庫調整により売上減少の企業があり、売上・収益ともに悪化した。

#### 2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは△8.3、今期実績比8.3ポイント悪化する見込み。取引先の在庫調整も終了し売上増加を見込む企業がある一方、季節商品の落込みや販売先の仕入方法が変更になり売上減少を見込む企業があり、売上は減少、収益は改善する見込み。

	28年1-3月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	28年4-6月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	8.3	8.3	83.3	0.0	△12.5		0.0	8.3	91.7	△8.3	△8.3
売上	12.5	12.5	75.0	0.0	△20.8	4.2	4.2	8.3	87.5	△4.2	△4.2
収益	0.0	16.7	83.3	△16.7	△12.5	12.5	4.2	8.3	87.5	△4.2	12.5

### 〈電設資材卸売業〉

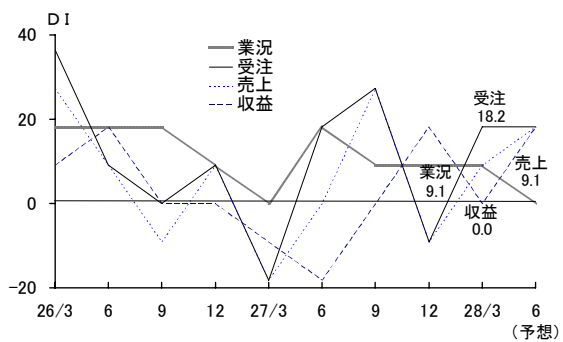
#### 1. 景況

業況判断D Iは△5.6、前回(5.6)に比べ11.2ポイント悪化した。取引先からの受注が安定している企業がある一方、通信機器や配線をコンパクトに収納する住宅用ボックスの売上が減少した企業があり、売上・収益はともに横ばいで推移した。

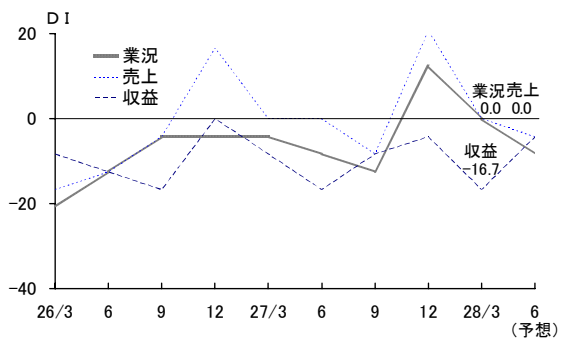
#### 2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは0.0、今期実績比5.6ポイント改善する見込み。現状、回復の見込みがないため売上減少を見込む企業があるが、新しい機械の購入により売上増加を見込む企業もあり、売上は改善、収益は横ばいで推移する見込み。

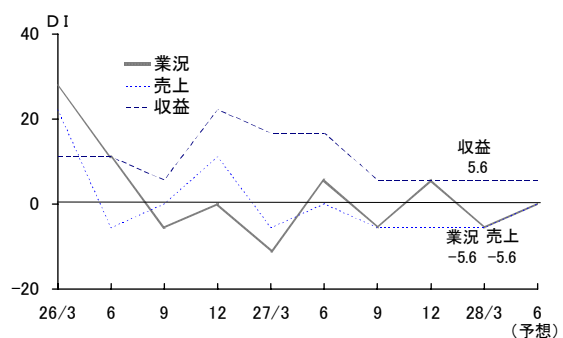
	28年1-3月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	28年4-6月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	0.0	5.6	94.4	△5.6	△11.2		5.6	5.6	88.9	0.0	5.6
売上	0.0	5.6	94.4	△5.6	0.0	△11.1	5.6	5.6	88.9	0.0	5.6
収益	11.2	5.6	83.3	5.6	0.0	0.0	11.2	5.6	83.3	5.6	0.0



時期	前期 平成27年 10~12月	当期 平成28年 1~3月	来期見通し 平成28年 4~6月
業種	珪砂製造業	珪砂製造業	珪砂製造業



和飲食器 卸売業			
-------------	--	--	--



電設資材 卸売業			
-------------	--	--	--

## 〈建築・土木・生コン製造業〉

### 1. 景況

業況判断D Iは0.0、前回(5.9)に比べ5.9ポイント悪化した。個人宅への工事等で売上増加を図っている企業や年度末に向けて公共工事の受注が増加した企業もあり、受注・売上は好転した。

### 2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは5.9、今期実績比5.9ポイント改善する見込み。引き続き公共工事の受注増加を見込む企業がある一方、公共工事が落ち着き減少を見込む企業と二極化が見られ、受注・売上はともに減少、収益は横ばいで推移する見込み。

	28年1-3月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	28年4-6月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	0.0	0.0	100.0	0.0	△5.9		5.9	0.0	94.1	5.9	5.9
受注	23.5	0.0	76.5	23.5	11.7		5.9	5.9	88.2	0.0	△23.5
売上	23.5	0.0	76.5	23.5	5.9	0.0	11.8	5.9	82.4	5.9	△17.6
収益	5.9	5.9	88.2	0.0	△11.8	0.0	5.9	5.9	88.2	0.0	0.0

## 〈螺子製造業〉

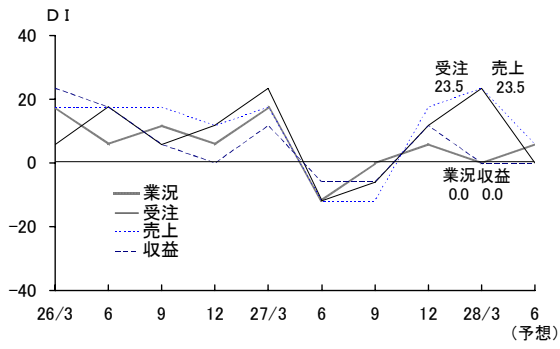
### 1. 景況

業況判断D Iは17.6、前回(△5.9)に比べ23.5ポイント改善した。取引先からの値下げ要請、生産調整や自動車メーカーの製造ライン停止に伴い受注が減少した企業がある一方、自動車部品の安定した取引で受注が増加した企業があり、受注・売上は横ばい、収益は改善した。

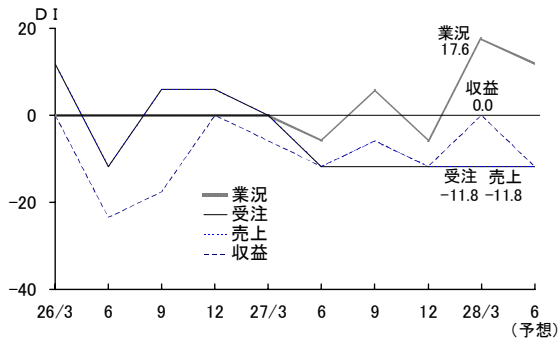
### 2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは11.8、今期実績比5.8ポイント悪化する見込み。引き続き自動車部品の安定した受注を見込む企業がある一方、取引先からの値下げ要請や自動車生産台数減少による受注減少を見込む企業があり、受注・売上は横ばい、収益は悪化する見込み。

	28年1-3月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	28年4-6月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	29.4	11.8	58.8	17.6	23.5		23.5	11.8	64.7	11.8	△5.8
受注	5.9	17.6	76.5	△11.8	0.0		0.0	11.8	88.2	△11.8	0.0
売上	5.9	17.6	76.5	△11.8	0.0	△5.9	0.0	11.8	88.2	△11.8	0.0
収益	5.9	5.9	88.2	0.0	11.8	0.0	0.0	11.8	88.2	△11.8	△11.8



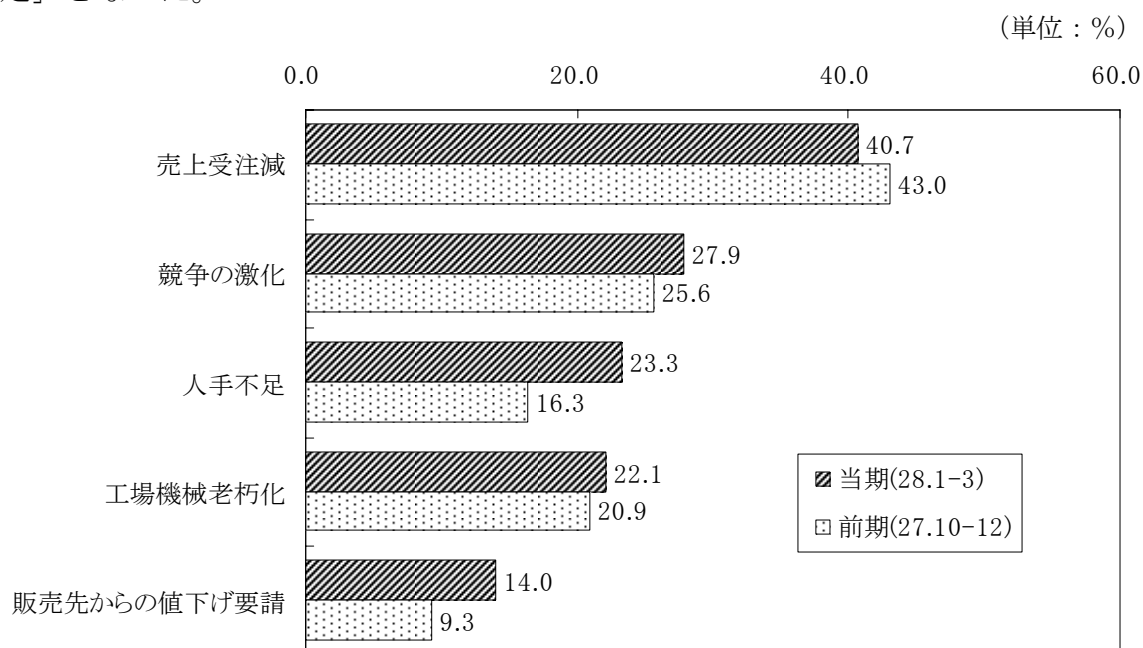
時期	前期 平成27年 10~12月	当期 平成28年 1~3月	来期見通し 平成28年 4~6月
業種	建築・土木 生コン 製造業		



螺子製造業			
-------	--	--	--

### 経営上の問題点上位5項目（陶磁器製造業）

今回調査では、1位「売上・受注の停滞・減少」、2位「競争の激化」、3位「人手不足」となった。



※数字は有効回答数に占める割合で1企業が3項目まで回答

### 設備投資の動き（陶磁器製造業）

今回調査では、設備投資の実績は3.5%で、前期実績を1.2ポイント下回った。来期（今後3か月以内）は5.8%で、当期実績を2.3ポイント上回る予想となった。

（単位：％）

	前期 27年10-12月期	当期 28年1-3月期	来期 28年4-6月期
実施あり	4.7	3.5	5.8
土地	0.0	0.0	0.0
建物	0.0	33.3	20.0
機械の新設	75.0	33.3	0.0
機械の更改	0.0	33.3	60.0
その他	25.0	0.0	20.0
実施なし	95.3	96.5	94.2

※内訳の数字は「実施あり」に占める割合で、1企業が複数回答あり。

## 中小企業の将来を見据えた事業承継について

特別調査として「中小企業の将来を見据えた事業承継」について、瀬戸・尾張旭地区の11業種173社（うち陶磁器製造業86社）、名古屋地区の7業種137社を対象に、調査を実施しました。結果は以下のとおりです。

なお、全国、愛知県は、信金中央金庫の調査によるもので、調査先は全国15,890先、愛知県732先の結果です。

### 1. 代表者の年齢と後継者の状況

(単位:%)

		代表者の年齢層					後継者について				
		20歳代、30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	後継者決定済み	後継者いるが未決定	候補者なし	まだ考えていない	後継者はいらない
陶磁器製造業	ノベルティ	0.0	0.0	29.4	58.8	11.8	17.6	0.0	17.6	58.8	5.9
	洋飲食器	0.0	11.1	22.2	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0
	タイル	0.0	12.5	25.0	37.5	25.0	12.5	25.0	12.5	50.0	0.0
	電磁器	0.0	15.8	26.3	21.1	36.8	26.3	15.8	5.3	47.4	5.3
	ファインセラミックス	0.0	21.4	14.3	21.4	42.9	28.6	21.4	0.0	50.0	0.0
	和飲食器	0.0	15.8	10.5	42.1	31.6	21.1	5.3	15.8	52.6	5.3
	陶磁器製造業計	0.0	12.8	20.9	36.0	30.2	23.3	10.5	9.3	53.5	3.5
	珪砂	0.0	9.1	45.5	45.5	0.0	18.2	9.1	18.2	54.5	0.0
	和飲食器卸売	4.2	16.7	25.0	12.5	41.7	37.5	12.5	4.2	37.5	8.3
	電設資材卸売	5.6	0.0	16.7	66.7	11.1	33.3	22.2	5.6	38.9	0.0
	建築・土木・生コン	0.0	23.5	35.3	23.5	17.6	23.5	0.0	5.9	70.6	0.0
螺子	0.0	29.4	23.5	17.6	29.4	35.3	17.6	23.5	23.5	0.0	
その他業種計	2.3	16.1	27.6	31.0	23.0	31.0	12.6	10.3	43.7	2.3	
瀬戸・尾張旭地区取引先計	1.2	14.5	24.3	33.5	26.6	27.2	11.6	9.8	48.6	2.9	
名古屋地区取引先計	1.5	19.0	27.0	33.6	19.0	28.5	22.6	9.5	35.0	4.4	
当金庫取引先計	1.3	16.5	25.5	33.5	23.2	27.7	16.5	9.7	42.6	3.5	
全国	3.3	16.9	25.2	35.1	19.5	31.7	21.1	8.8	32.2	6.3	
愛知	3.0	20.6	30.7	28.6	17.1	33.0	19.3	7.4	36.2	4.2	

### 代表者の高齢化、4割以上が後継者を考えていない

#### <当金庫取引先>

代表者の年齢階層については、「60歳代」と回答した割合が33.5%と最も高く、「50歳代」が25.5%、「70歳代以上」が23.2%となり、8割以上の代表者が50歳代以上となっている。

瀬戸・尾張旭地区取引先は60歳代、70歳代以上の代表者が多い一方、名古屋地区取引先では60歳代の次に50歳代の代表者が多く、40歳代についても名古屋地区取引先の方が多かった。

後継者については、「まだ考えていない」が42.6%で最も高く、「後継者決定済み」が27.7%、「後継者いるが未決定」が16.5%となり、約4割の企業で後継者について考えていない結果となった。

瀬戸・尾張旭地区取引先、名古屋地区取引先においても当金庫取引先と同様であったが、瀬戸・尾張旭地区取引先では5割近くの企業で後継者のことをまだ考えていないとの回答であった。

#### <陶磁器製造業>

代表者の年齢階層については、「60歳代」と回答した割合が36.0%と最も高く、「70歳代以上」が30.2%、「50歳代」が20.9%と50歳代以上の割合が87.1%と当金庫取引先より高くなっている。

後継者についても当金庫取引先と同様であるが、「まだ考えていない」との回答が5割以上であった。

業種別の代表者の年齢階層は、ファインセラミックスで「70歳代以上」に次ぎ「60歳代」とともに「40歳代」が21.4%と割合が高くなっている。

後継者についてはすでに決まっていると回答した企業割合が最も多い洋飲食器で約3割となっており、電磁器を除く全ての業種で「まだ考えていない」が5割強の回答となった。

## 2. 現時点における事業承継の考え方

(単位:%)

		子供に承継 (娘婿含む)	子供以外の 同族者に承継	非同族の 役職員に承継	非同族の 社外人材 に承継	M&A (事業 譲渡)等	多忙で考 える余裕 なし	何から手 をつける べきか 不明	身近に 相談相手 なし	現時点で 考える 意図なし	事業継続 意図なし
	ノベルティ	29.4	0.0	11.8	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	41.2	11.8
	洋飲食器	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	55.6	0.0
	タイル	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5	0.0
	電磁器	31.6	10.5	0.0	5.3	0.0	5.3	5.3	0.0	36.8	5.3
	ファインセラミクス	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0
	和飲食器	47.4	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	42.1	0.0
	<b>陶磁器製造業計</b>	<b>37.2</b>	<b>5.8</b>	<b>3.5</b>	<b>1.2</b>	<b>0.0</b>	<b>2.3</b>	<b>2.3</b>	<b>0.0</b>	<b>44.2</b>	<b>3.5</b>
	珪砂	27.3	18.2	18.2	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	18.2	0.0
	和飲食器卸売	58.3	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	29.2	8.3
	電設資材卸売	50.0	11.1	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	27.8	0.0
	建築・土木・生コン	47.1	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	41.2	0.0
螺子	47.1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	35.3	11.8	
その他業種計	48.3	6.9	3.4	1.1	0.0	3.4	1.1	0.0	31.0	4.6	
瀬戸・尾張旭地区取引先計	42.8	6.4	3.5	1.2	0.0	2.9	1.7	0.0	37.6	4.0	
名古屋地区取引先計	48.2	9.5	6.6	0.7	0.0	5.1	0.0	0.7	24.1	5.1	
<b>当金庫取引先計</b>	<b>45.2</b>	<b>7.7</b>	<b>4.8</b>	<b>1.0</b>	<b>0.0</b>	<b>3.9</b>	<b>1.0</b>	<b>0.3</b>	<b>31.6</b>	<b>4.5</b>	
全国	46.6	7.5	9.2	0.9	1.5	4.1	2.0	0.6	21.2	6.4	
愛知	52.6	9.1	7.2	0.8	0.7	2.8	1.4	0.4	20.2	4.7	

### 4割以上が「子供への承継」を考えている

#### <当金庫取引先>

事業承継の考え方については、「子供に承継（娘婿含む）」の回答割合が45.2%と最も高く、「子供以外の同族者に承継」が7.7%、「非同族の役職員に承継」が4.8%となっている。また、「現時点で考える意図なし」と回答した企業も31.6%と高い割合であった。

瀬戸・尾張旭地区取引先は「子供に承継（娘婿含む）」が42.8%、「子供以外の同族者に承継」が6.4%となった。名古屋地区取引先についても結果は同様であり、それぞれ48.2%、9.5%と瀬戸・尾張旭地区取引先よりわずかに高かった。また、「現時点で考える意図なし」との回答は両地区ともに高い回答であったが、名古屋地区取引先より瀬戸・尾張旭地区取引先の方が13.5%高く、事業承継について現時点では考えていない企業が多かった。

#### <陶磁器製造業>

事業承継の考え方について「子供に承継（娘婿含む）」の回答割合が37.2%、「子供以外の同族者に承継」が5.8%となっているが、「現時点で考える意図なし」が最も高く44.2%となり、多くの企業が現時点で事業承継を考えていないことが分かった。

業種別は、「子供に承継（娘婿含む）」「現時点で考える意図なし」が多く、特に洋飲食器、タイルでは5割以上が「現時点で考える意図なし」の回答となった。

その他業種については、全ての業種で「子供に承継（娘婿含む）」が高かったが、珪砂では「子供以外の同族者に承継」「非同族の役職員に承継」も18.2%と高い回答となった。

### 3. 事業承継に関する情報や知識の入手先(複数回答)

(単位:%)

	新聞・書籍	インターネット	取引先金融機関	商工会議所・商工会	国・地公体・外郭団体	税理士等の専門家	取引先企業	コンサルタント企業	その他	特になし
ノベルティ	11.8	5.9	23.5	11.8	0.0	64.7	0.0	11.8	0.0	23.5
洋飲食器	22.2	11.1	77.8	44.4	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1
タイル	37.5	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	12.5	25.0	0.0	25.0
電磁器	15.8	10.5	26.3	21.1	0.0	73.7	5.3	10.5	0.0	10.5
ファインセラミックス	14.3	7.1	21.4	7.1	0.0	57.1	0.0	7.1	0.0	21.4
和飲食器	21.1	10.5	47.4	21.1	0.0	36.8	5.3	0.0	0.0	26.3
<b>陶磁器製造業計</b>	<b>18.6</b>	<b>8.1</b>	<b>33.7</b>	<b>17.4</b>	<b>0.0</b>	<b>51.2</b>	<b>3.5</b>	<b>8.1</b>	<b>0.0</b>	<b>19.8</b>
珪砂	0.0	9.1	45.5	27.3	0.0	54.5	0.0	0.0	0.0	18.2
和飲食器卸売	25.0	8.3	33.3	12.5	0.0	66.7	4.2	8.3	0.0	12.5
電設資材卸売	27.8	5.6	22.2	11.1	0.0	77.8	5.6	11.1	0.0	5.6
建築・土木・生コン	5.9	0.0	41.2	41.2	0.0	52.9	0.0	0.0	0.0	11.8
螺子	17.6	17.6	29.4	5.9	0.0	52.9	11.8	11.8	0.0	11.8
その他業種計	17.2	8.0	33.3	18.4	0.0	62.1	4.6	6.9	0.0	11.5
瀬戸・尾張旭地区取引先計	17.9	8.1	33.5	17.9	0.0	56.6	4.0	7.5	0.0	15.6
名古屋地区取引先計	16.1	10.2	26.3	4.4	0.7	61.3	15.3	11.7	0.0	8.0
<b>当金庫取引先計</b>	<b>17.1</b>	<b>9.0</b>	<b>30.3</b>	<b>11.9</b>	<b>0.3</b>	<b>58.7</b>	<b>9.0</b>	<b>9.4</b>	<b>0.0</b>	<b>12.3</b>
全国	17.5	13.8	23.6	9.3	1.6	45.1	8.2	5.3	1.7	21.8
愛知	14.0	11.0	24.6	7.0	0.7	57.2	7.3	10.6	2.5	17.4

#### 情報や知識入手先は税理士等専門家が約6割

##### <当金庫取引先>

事業承継に関する情報や知識の入手先については、「税理士等の専門家」が58.7%と最も高く、「取引先金融機関」が30.3%、「新聞・書籍」が17.1%と続いた。

瀬戸・尾張旭地区取引先では、「税理士等の専門家」が56.6%と最も高く、「取引先金融機関」が33.5%、名古屋地区取引先でも同様に「税理士等の専門家」、「取引先金融機関」の割合が高かった。また、瀬戸・尾張旭地区取引先では「商工会議所・商工会」の回答率が17.9%と名古屋地区取引先の4.4%と比較して大きく上回った。

##### <陶磁器製造業>

事業承継に関する情報や知識の入手先については、「税理士等の専門家」が51.2%と最も高く、「取引先金融機関」が33.7%、「新聞・書籍」が18.6%と続いた。また、約2割の企業が「特になし」との回答であった。

業種別にみると、ノベルティ・電磁器・ファインセラミックスは「税理士等の専門家」、洋飲食器・和飲食器では「取引先金融機関」、タイルは「新聞・書籍」がそれぞれ最も高くなっている。なかでも、洋飲食器では約8割の企業が「取引先金融機関」を知識の入手先としている。

その他業種においては、全ての企業で「税理士等の専門家」が最も高い回答となり、電設資材卸売を除いて「取引先金融機関」が続いた。また、建築・土木・生コン製造業では「商工会議所・商工会」との回答が41.2%と高い割合となった。

全国、愛知県も上位は当金庫取引先と同様であるが、「インターネット」との回答割合も高くなった。



#### 4. 事業承継を行う際に考えられる問題点(複数回答)

(単位:%)

	事業の将来性	取引先との信頼関係の維持	社員の不平・不満	先代経営者の影響力	後継者の力量不足	借入への個人保証・担保	相続税など税金対策	自社株など個人資産の扱い	特になし	その他
ノベルティ	64.7	58.8	0.0	0.0	11.8	23.5	23.5	11.8	11.8	0.0
洋飲食器	77.8	77.8	0.0	11.1	0.0	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0
タイル	25.0	62.5	0.0	0.0	12.5	12.5	25.0	0.0	12.5	0.0
電磁器	63.2	52.6	0.0	5.3	21.1	21.1	15.8	5.3	10.5	0.0
ファインセラミックス	57.1	57.1	0.0	7.1	7.1	35.7	35.7	21.4	7.1	0.0
和飲食器	68.4	47.4	0.0	10.5	26.3	10.5	5.3	0.0	10.5	5.3
<b>陶磁器製造業計</b>	<b>61.6</b>	<b>57.0</b>	<b>0.0</b>	<b>5.8</b>	<b>15.1</b>	<b>20.9</b>	<b>18.6</b>	<b>7.0</b>	<b>10.5</b>	<b>1.2</b>
珪砂	45.5	27.3	0.0	27.3	18.2	45.5	9.1	9.1	9.1	0.0
和飲食器卸売	62.5	37.5	0.0	8.3	4.2	29.2	33.3	0.0	20.8	0.0
電設資材卸売	83.3	44.4	5.6	5.6	5.6	16.7	22.2	11.1	5.6	0.0
建築・土木・生コン	82.4	35.3	0.0	5.9	11.8	17.6	17.6	11.8	5.9	0.0
螺子	76.5	58.8	5.9	11.8	11.8	11.8	35.3	11.8	5.9	0.0
その他業種計	71.3	41.4	2.3	10.3	9.2	23.0	25.3	8.0	10.3	0.0
瀬戸・尾張旭地区取引先計	66.5	49.1	1.2	8.1	12.1	22.0	22.0	7.5	10.4	0.6
名古屋地区取引先計	59.9	46.7	3.6	13.1	20.4	18.2	15.3	19.7	7.3	1.5
<b>当金庫取引先計</b>	<b>63.5</b>	<b>48.1</b>	<b>2.3</b>	<b>10.3</b>	<b>15.8</b>	<b>20.3</b>	<b>19.0</b>	<b>12.9</b>	<b>9.0</b>	<b>1.0</b>
全国	60.1	34.8	6.6	10.9	20.9	18.9	12.6	11.3	13.6	1.7
愛知	58.2	35.2	8.9	14.7	22.0	22.1	17.1	17.5	10.5	1.0

#### 「事業の将来性」を挙げる企業が6割以上

##### <当金庫取引先>

事業承継における問題点については、「事業の将来性」が63.5%と最も高い回答割合となり、続いて「取引先との信頼関係の維持」が48.1%、「借入への個人保証・担保」が20.3%、「相続税など税金対策」が19.0%となった。

瀬戸・尾張旭地区取引先においては、「事業の将来性」の回答割合が66.5%、続いて「取引先との信頼関係の維持」が49.1%、「借入への個人保証・担保」「相続税など税金対策」がともに22.0%となった。

名古屋地区取引先では、「事業の将来性」の回答割合が59.9%、「取引先との信頼関係の維持」が46.7%、「後継者の力量不足」が20.4%、「自社株など個人資産の扱い」が19.7%となり、瀬戸・尾張旭地区取引先とは少し違う問題点となった。

##### <陶磁器製造業>

事業承継における問題点について、「事業の将来性」が61.6%と最も高い回答割合となり、続いて「取引先との信頼関係の維持」が57.0%、「借入への個人保証・担保」が20.9%、「相続税などの税金対策」が18.6%となり、当金庫取引先と比較して「取引先との信頼関係の維持」がかなり高かった他は、ほぼ同様であった。

業種別では、タイル以外の業種で「事業の将来性」が問題点と考えられており、タイルは「取引先との信頼関係の維持」が62.5%と最も高い割合となり、洋飲食器・ファインセラミックスでも「事業の将来性」と同じ高い回答割合となった。

その他業種は、全ての業種で「事業の将来性」「取引先との信頼関係の維持」の回答割合が高いたが、珪砂では「借入への個人保証・担保」が45.5%と高い回答割合となった。

また、全国、愛知県も当金庫取引先と同様に「事業の将来性」等が上位の回答となっているが、「後継者の力量不足」も20%台と当金庫取引先より高い回答割合となった。

## 5. 事業承継を進めるうえでの信用金庫への期待

(単位:%)

	後継者教育・セミナー等	個別相談	専門家(税理士等)の紹介	事業譲渡先の紹介	事業承継前後の個人保証・担保への対応	早期の事業承継の準備への助言等	承継後の事業計画策定への助言等	自社で解決	特に期待せず	その他
ノベルティ	35.3	23.5	5.9	0.0	11.8	0.0	0.0	11.8	11.8	0.0
洋飲食器	22.2	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
タイル	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	37.5	0.0
電磁器	36.8	31.6	0.0	0.0	5.3	5.3	5.3	15.8	0.0	0.0
ファインセラミックス	14.3	21.4	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	21.4	0.0
和飲食器	15.8	15.8	10.5	0.0	10.5	5.3	15.8	10.5	10.5	5.3
陶磁器製造業計	26.7	25.6	3.5	0.0	10.5	2.3	5.8	11.6	12.8	1.2
珪砂	36.4	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0	9.1	9.1	18.2	0.0
和飲食器卸売	50.0	4.2	4.2	0.0	8.3	0.0	8.3	8.3	16.7	0.0
電設資材卸売	55.6	11.1	11.1	0.0	5.6	0.0	0.0	5.6	11.1	0.0
建築・土木・生コン	35.3	35.3	5.9	5.9	5.9	0.0	0.0	5.9	5.9	0.0
螺子	17.6	23.5	5.9	0.0	5.9	0.0	11.8	23.5	11.8	0.0
その他業種計	40.2	14.9	5.7	1.1	9.2	0.0	5.7	10.3	12.6	0.0
瀬戸・尾張旭地区取引先計	33.5	20.2	4.6	0.6	9.8	1.2	5.8	11.0	12.7	0.6
名古屋地区取引先計	28.5	15.3	5.8	0.7	10.2	10.2	7.3	10.2	10.2	1.5
当金庫取引先計	31.3	18.1	5.2	0.6	10.0	5.2	6.5	10.6	11.6	1.0
全国	19.8	21.1	4.8	1.4	8.4	8.7	6.1	14.7	13.3	1.8
愛知	20.7	17.1	3.5	0.8	9.7	9.0	7.4	16.5	13.6	1.8

### 後継者教育・セミナー等に期待、一方「特に期待していない」も多い

#### <当金庫取引先>

事業承継に関し信用金庫への期待について、「後継者教育・セミナー等」の回答割合が31.3%と最も高く、続いて「個別相談」が18.1%、「事業承継前後の個人保証・担保への対応」が10.0%となった。また、「特に期待せず」が11.6%、「自社で解決」が10.6%と2割強の企業が信用金庫への期待が薄い結果となった。

地区別では、瀬戸・尾張旭地区取引先、名古屋地区取引先はともに「後継者教育・セミナー等」「個別相談」の回答割合が高くなり、「自社で解決」「特に期待せず」の回答企業も多かった。

#### <陶磁器製造業>

事業承継に関し信用金庫への期待について、「後継者教育・セミナー等」の回答割合が26.7%、「個別相談」が25.6%と回答割合が変わらなかった。続いて「事業承継前後の個人保証・担保への対応」が10.5%となった。また、「自社で解決」「特に期待せず」の回答割合も当金庫取引先と比べてもわずかに高かった。

業種別では、ノベルティ・タイル・電磁器は「後継者教育・セミナー等」、洋飲食器は「個別相談」、ファインセラミックスは「事業承継前後の個人保証・担保への対応」が最も高く業種によって分かれた。和飲食器は「後継者教育・セミナー等」「個別相談」「承継後の事業計画策定への助言等」が同じ回答割合となった。また、タイル・ファインセラミックスでは「特に期待せず」の回答が高くなった。

全国、愛知県についても「後継者教育・セミナー等」「個別相談」が高くなっており、「自社で解決」「特に期待せず」は当金庫取引先より高い回答割合となった。

景気動向調査結果 (名古屋地区)

平成 28 年 3 月

業種	時期	前期	当期	来期見通し	概 況
		平成 27 年 10~12 月	平成 28 年 1~3 月	平成 28 年 4~6 月	
製 造 業	繊維製品				業況判断DIは△18.2、前期比 9.1 ポイント悪化となった。受注額DI、売上額DIはともに△9.1、前期比横ばいとなっているものの、売上数量DIは△18.2、前期比 18.2 ポイント悪化となっている。  予想業況判断DIは△18.2、今期比横ばいの見込み。
	機械・部品				業況判断DIは 8.1、前期比 2.7 ポイント悪化となった。受注額DI、売上額DIはともに 8.1、前期比もともに 8.1 ポイントの悪化となっている。  予想業況判断DIは 8.1、今期比横ばい見込み。
	紙加工品				業況判断DIは△21.4、前期比 7.1 ポイント悪化となった。受注額DI、売上額DIはともに△28.6、前期比はともに 35.7 ポイントの悪化となっている。  予想業況判断DIは△21.4、今期比横ばい見込み。
卸 売 業	鋼材・伸銅品				業況判断DIは 0.0、前期比 14.3 ポイント悪化となった。売上高DIは△9.5、前期比 9.5 ポイント悪化、売上数量DIは△4.8、前期比 4.8 ポイントの悪化となっている。  予想業況判断DIは△4.8、今期比 4.8 ポイント悪化する見込み。
	建築材料				業況判断DIは 6.7、前期比横ばいとなった。但し、売上額DIは△6.7、前期比 6.7 ポイントの悪化、売上数量DIも△6.7、前期比 13.4 ポイントの悪化となっており、今後の動向に注目している。  予想業況判断DIは△20.0、今期比 26.7 ポイント悪化する見込み。
	家具・文具				業況判断DIは△10.0、前期比 20.0 ポイント改善となった。売上額DIは 0.0、前期比横ばい。売上数量DI、販売単価DIともに 0.0、前期比はともに 10.0 ポイントの改善となっている。  予想業況判断DIは△10.0、今期比横ばい見込み。
建 設 業					業況判断DIは 13.8、前期比横ばいとなった。受注額DIは 24.1、前期比 10.3 ポイントの改善、売上額DIは 20.7、前期比 3.5 ポイントの改善となっている。  予想業況判断DIは 13.8、今期比横ばい見込み。

※この天気図は、本調査を総合的に判断して作成したものです。

好 調 ← → 低 調

## バンコク駐在員事務所通信

平成28年3月  
バンコク駐在員事務所  
所長 松浦 博章

### タイの政治経済等最新事情

#### 1. 政治

タイでは平成28年2月から相続税と贈与税の課税が開始されました。タイではバンコクなどの都市部と農村部の1世帯あたりの所得に最大で5倍の開きがあるなど経済格差が深刻です。平成26年5月のクーデターでタクシン元首相派の民選政権を倒したプラユット軍事政権は、その是正に向けて相続税を導入しました。課税対象となる資産は、①タイ国内外の不動産、②株式（上場・未上場問わず）、③自動車、④現預金の4種のみで、債券や貴金属類は対象外となっています。相続財産は1億バーツ（＝約3億3千万円、1バーツ≒3.3円）を超える対象資産について相続人が血縁者の場合は5%、それ以外は10%が課税されます。

相続税を巡っては、課税の対象となる金額を引き下げるなど、より幅広い層を対象にすべきだという意見もありましたが、議会の反対などで実現できず、格差の是正への効果を疑問視する声があがっています。

#### 2. 経済

バンコク日本人商工会議所（JCC）自動車部会は、タイ現地日系メーカーの四輪生産が平成28年に1,824,848台となり、前年比1%増加するとの見通しを発表しました。平成28年のタイ国向け生産は前年比2%増の670,700台、輸出はほぼ横這いとなる1,154,148台の見通しです。タイ経済は緩やかな成長が見込まれていますが、家計債務の拡大や自動車税の改正による値上げなどがマイナス要因となり、タイ国内の新車市場は4年連続で前年を下回る見通しです。なお、日系メーカーでは、新モデルの投入もあり、生産は僅かに増加すると予想しています。

#### 3. 社会

日本政府観光局（JNTO）は、平成28年2月の訪日タイ人が前年同月比39.2%増の61,300人と、昨年2月の訪日タイ人記録を更新したと発表しました。タイでは、チャーター便やLCCを利用したパッケージツアー販売が好調であり、これまでLCC利用のツアー商品を販売してこなかった中堅旅行社も同分野に参加しており、業界内の競争が激化しています。

（平成25年7月1日から訪日するタイ人に対する査証取得の免除措置が開始されました。）

#### 4. テクノロジー

プラユット軍事政権の「タイ国内の交通インフラ整備8か年計画」は平成27年～34年の間で実施される予定です。タイ国鉄の強化に加え、バンコク都心の交通機関・高速道路を強化し、都内の交通渋滞解消を図るというものです。プラユット軍事政権の計画によると5つの路線が複線化される予定で、鉄道工事が完成すればタイ国鉄は228便/日から800便に運行量が増大すると見込んでいます。タイ国鉄は4,043kmにわたり鉄道を敷設していますが、93%は単線となっています。拡張の難しいチャオプラヤ川などを利用した水路以外の輸送コストは、鉄道輸送が最も効率的であることから、複線化が完成すれば客車・貨物ともに利便性や効率が高まるものと見込まれています。